

株式会社 ハマダセイ

心

作る側の良いものを届けるという思い、製品を買ってくださる方の思い、
食の安全を守る思い、様々な思いを大切にする会社です。

会社概要

- 代表者 ● 代表取締役 濱田 義夫
- 本社所在地 ● 美方郡香美町
- 事業内容 ● 海産物の加工・販売
- 従業員数 ● 55名
うち高齢者14名(うち65歳以上8名)
- ホームページ ● <http://www.hamadasei.co.jp>



高齢者雇用について人事担当者にインタビュー

高齢者雇用推進のきっかけ・経緯は？

当社はカニを中心とした魚介類を加工し販売しています。この仕事には豊富な経験と知識・技術が不可欠となります。カニの加工を例に挙げますと、まず材料の状態を把握しなければなりません。これは見た目が同じに見えても鮮度や身の詰まり具合などがそれぞれ違っており、味の付け方や茹で時間をそれぞれ変えなければならないからです。カニの種類・大きさ・季節・脱皮の具合など判断の基準は多岐にわたるのですが、それを見た目や手の感触などで選定するのは経験・知識がなければ到底出来るものではありません。こうして選別した材料を加工していくのですが、その段階でも様々な能力が必要です。調理では塩の量や茹で具合を味見や経験で調整し、身抜き作業や梱包では機械や手を使い無駄なく処理する。そのような美しい仕事をするためには熟練の経験や技がなければ難しい事なのです。

この様に経験・知識・技術など全てを兼ねそろえた高齢者を継続雇用するのは自然な流れであり、品質を維持していくという観点からも必要な事なのです。

雇用された方はどのような職種に就かれていますか？

社内で継続雇用している方は全て海産物の加工業務に携わっています。仕事内容は基本的に全社員同じなので経験・知識・技術はそのまま活かしますし、その働く姿が同僚の良いお手本となっています。また教育係としても活躍していただいております。

ハローワーク経由で雇用した方は主に運搬をお願いしています。これは工場内の材料や加工品の移動はもちろん、外部への運搬も含まれます。元漁師の方が大半なので魚やカニの知識が豊富で色々と相談でき、助かっています。



インタビュー中の専務取締役 島崎さん

高齢者雇用のために配慮している事は？

経験豊かな方に怪我や病気をされると困るのは会社です。そのため当社では現場で怪我をしにくく、働きやすい現場を作るよう配慮しています。まずは工場内の照明を明るく変更し、床が魚などの滑りで足が滑らないようにイオン水を常時流すようにしました。もちろん出来る限り段差や窪みを無くすように工場内も整備しています。

高齢になると聴覚・視覚が衰えてきますので機械の騒音により耳が悪くならないように、なるべく音の出ない機械を導入するようにしました。その他にも作業で使用する機材も表示が大きく、音声でもお知らせしてくれるものを選び、働きやすい環境づくりを行っています。

設備投資にはそれなりの資金が必要となりますが、それだけの価値があると思い推進してきました。これは当社にとって商品価値を高めるための投資なのです。

それと高齢者には重量物の扱いをなるべくさせないようにしています。この考え方を現場の従業員に認識させ、若い人が率先して扱うようになりました。



仕事の様子

高齢者雇用によるメリットは？

ここ香美町は水産業者が少なく後継者不足も問題となっています。当社も例外なく人手不足で人材の確保が課題となっています。それを解消する手段として、長年現場で働いている従業員の人脈を使わせてもらい、同業者の方を紹介していただくという事があります。長年この仕事に従事していないとこの様な人間関係は出来ません。

そして高齢者の一番の魅力は知識と経験です。製品の品質を保持・向上させるためには材料の選別から加工まで、全ての工程で必要な知識・技術を習得しなければなりません。高齢者の方はそれを身に付けているだけでなく、作業全体の進み具合を管理することや同僚の教育係までしてくれるのです。

ですから会社としては信頼の証として、対等な立場で接しています。そのような人間関係をつくることにより会社の考え方を理解し、責任感を持って仕事をしてくれるのです。そのおかげで中には三世代で当社に勤務されている家庭もあるほどです。

最後に、これから高齢者雇用に取り組もうとしている企業へのメッセージをお願いします。

当社の場合、高齢者の方に商品価値を高めるための手助けをお願いしています。このように知識・技術を活用するには会社が雇ってあげるというのではなく、来ていただいているという思いを伝える事が大事です。それには会社のプラスになる知識・技術・経験を持った人を把握し、採用する必要があります。60歳を超えると個人の体力差が大きくなる傾向にあるので見極めが必要です。

長く働いてもらうにはライフスタイルに合わせた雇用形態を準備したほうが良いと思います。これは65歳を超えると仕事だけでなく、家庭も重視したライフスタイルに移行する人が多くなるためです。

この様に雇用を推進していけば後継者教育などの企業の発展や高齢者の健康維持にもつながります。これは地域貢献・社会貢献でもありますので積極的に推進してください。

勤務されている方へのインタビュー

年齢を伺えますか？

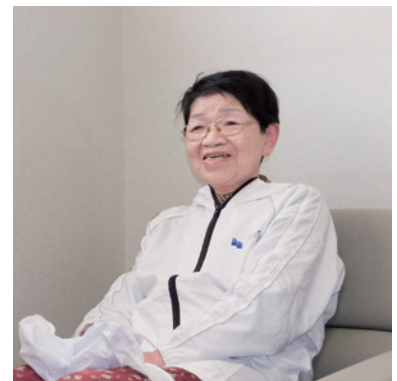
現在76歳です。

いつからこの会社に勤めていますか？

約40年前から勤務しています。

どのような仕事に従事されていますか？

水産物の加工をしています。カニの身出し作業やトレイパックへの陳列・包装など加工業務全般に従事しています。



インタビューに答えるKさん

どのような勤務形態となっていますか？

この仕事はその日に予定されている作業を全て終了させないといけません。それまでが勤務時間となっています。大体7時30分から16時30分位に収まっています。

会社の同僚（特に若い方）とのコミュニケーションはとれていますか？

指導係としての受け答えはしっかり丁寧にするようにしています。しかし仕事以外ではあまり干渉しないように心掛けるようにしています。過干渉はトラブルの素になり職場の雰囲気悪くする原因となるからです。

この会社に勤めて良かったと思う事は？

この会社は大変自分に良くしてくれていると感じています。今まで長く勤めさせてくれましたし、家族ぐるみの付き合いとなっています。これまで自分の親や親戚まで働かせていただいた事にも感謝しています。いい会社に巡り合えたという思いがありますので一生懸命に働く事が出来ます。

いつまでこの会社で働きたいと思われていますか？

とりあえずの目標は77歳までです。1年ごとに頑張っていきたいと考えています。仕事を辞める時は自分で判断し、会社には迷惑をかけないようにしたいと思っています。